



テーマグループ3 児童虐待防止・対応強化

1. テーマ案

「女性のライフサイクルに応じた切れ目のない支援」

2. テーマグループの団体からでた意見など

- 「たくさんの方が関わる子育て」
- 「児童虐待発生予防のための関係機関の連携」
- 「意図しない妊娠の防止、妊娠した際の相談体制の強化」
- 「虐待の早期発見・予防、歯科からの子育て支援」
- 「母親の悩みのタネである子どもを診る」
- 「妊娠期からの切れ目のない子育て支援」
- 「チャイルドデスレビューの啓発」

そのほか、「女性のライフサイクルに応じた切れ目のない支援」に包括される意見が多数あり

3. テーマ案に基づいた取組の案／今後の方向性について

「女性のライフサイクルに応じた切れ目のない支援」に関する取組を実施

共通テーマに基づく今後の取組について



健やか親子21

テーマグループ3 「児童虐待防止・対応強化」 (グループとしての共通テーマがあれば記載)

共通テーマ	取組内容	参画団体
女性のライフサイクルに応じた切れ目のない支援	参加団体が別紙に示すと通りの活動を行ってきている。参加団体のそれぞれの活動内容を健やか親子21 HP上に集約し、広報していく。	活動に賛同される参画団体すべて
すこりんの掲示	活動内容をHPに載せるにあたり、すこりんを使用して、「健やか親子21」に賛同していることを、啓発する。	活動に賛同される参画団体すべて
グループ会議	次回のグループ会議では、推進協議会幹事団体の取組内容に関する発表会形式のミーティングを行い、各団体同士の横の連携を目指す	活動に賛同される参画団体のうち、発表を希望される団体

テーマ③児童虐待防止・対応強化□

	取組内容
◎(公益社団)日本小児科学会	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども虐待診療手引き(第2版)の作成 ・乳幼児の虐待による頭部外傷(AHT: Abusive Head Trauma)に関する共同合意声明の発信 ・本年4月の日本小児科学会学術集会での特別企画シンポジウムの開催 1. 予防可能死を減らすためのチャイルドデスレビュー: 医療者は何ができるか 2. 子ども虐待予防: 子育ての各世代における包括的家族支援の展望 3. 日本における社会的養護の現状と小児科医の役割 4. 保小と小児科医の連携 5. 健やか親子21(第2次) ―オールジャパンで挑む子どもが健やかに育つ社会の実現―
○(公益社団)日本産科婦人科学会	<p>理事会内にある児童虐待防止のための女性支援委員会が活動中</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 児童虐待に相関する因子としての社会的リスクをもった妊婦のスクリーニング基準の策定 2. 日本産婦人科医会などと共催して市民向け講座の開催(2月予定) 3. 性教育や望まない妊娠についての市民啓発(ホームページや市民向け講座など)
(社福)恩賜財団母子愛育会	<ul style="list-style-type: none"> 1. 児童虐待予防に関する研修会の開催 ・母子保健活動における児童虐待予防研修会の実施: 全国の保健師、助産師、看護師、保育士を対象に実施 ・本会の各種母子保健研修会において、児童虐待予防の内容を組み込んでいる。 2. 愛育班活動をとおしての児童虐待予防の地域づくり ・全国21県で、健康づくり、人々のつながりづくりのために、妊産婦・乳幼児から高齢者まで全ての地域住民に声かけ・見守りの訪問活動、住民同士の話し合い活動を展開している。 ・今後は、愛育班活動の中で、意図的に児童虐待予防の地域づくりをめざしていきたい。
(NPO)児童虐待防止協会	<p>子育て中の親を中心とする電話相談、学校での予防授業の取組み、多職種の支援者を対象とする研修会の開催、母子のグループケアをはじめとする行政との協働、など</p>
全国児童相談所長会	<ul style="list-style-type: none"> ○国への要請活動 児童虐待防止等に関する取組の強化を含めた「児童相談所の機能強化と相談体制の充実等に関する要請」等の実施 ○調査活動 ・平成26年27年調査研究「児童相談所が関わっている虐待事例から見る市区町村(要保護児童対策地域協議会)との連携のあり方に関する調査」について、報告書を作成するとともに、平成28年度全国児童相談所長会において基調講演を行った。 ・平成27年28年定例調査「虐待通告の実態調査(通告と児童相談所の対応についての実態調査)」を実施し、平成29年度全国児童相談所長会において基調講演及びシンポジウムを行った。 ・5年ごとに実施している「児童虐待相談のケース調査」について、平成30年度に実施予定
(公益社団)全国助産師教育協議会	<p>会員校に対して、児童虐待防止事業「オレンジリボン運動」参加に向けての情報提供を行っている。</p>
全国保健所長会	<p>一番に気付ける立場、妊婦の面接からの連携</p>

全国養護教諭連絡協議会	<p>①「養護教諭の職務に関する調査」において全国規模で、児童虐待への対応状況を調査し、実態把握と課題の整理等を行っている。</p> <p>②本会主催の研修会において、「虐待防止・対応強化」をテーマに、理解と対応が深められる講師を招聘し、会員の資質向上に寄与している。</p>
(公益社団)日本医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・一般市民等を対象とした「子育て支援フォーラム」の開催
(一般社団)日本家族計画協会	<p>①電話相談:思春期・FPホットラインにて、妊娠不安、緊急避妊の相談に対応</p> <p>②思春期外来(婦人科)にて、相談、指導を行う</p> <p>③指導者向けセミナーの開催</p> <p>④冊子の作成(企画段階)</p>
(公益社団)日本歯科医師会	<p>平成30年5月20日(日)日本歯科医師会公開フォーラムにおいて、「多職種による母子保健の推進～歯科からの提案～」のテーマで開催、特別講演「親子関係と子ども虐待」ほか、虐待の予防・対策・対応・課題等を含む講演内容もあり、講演及びディスカッションを行い、多くの参加者からの質問に講師が説明、参加者は約200名であった。</p>
(一般社団)日本小児救急医学会	<ul style="list-style-type: none"> ・開業小児科医と被虐待児の臓器移植に対する意識調査 ・小児救急医学会会員の被虐待児臓器移植の意識調査
(公益社団)母子保健推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止、地域での支えなどをテーマとした自治体母子保健関係者向け研修会の開催 ・妊娠期から切れ目なく母子を支えるための国際シンポジウムの開催 ・自治体に対して母子健康手帳交付時に母親に手渡すテキストの作成・配布(育児ストレスの軽減) ・乳児健診(3-4か月、8-9か月、1歳6か月など)時に配付する教材セットの作成・配布(育児ストレスの軽減) ・産前・産後の時期の自治体の実施する事業の実態調査及びガイドラインの作成 ・子育て中の母親対象に「リフレッシュ・ママクラス」の開催 など
(一般社団)日本小児歯科学会	<p>子どもの虐待防止対応ガイドラインを作成し、HPに掲載している。歯科検診は、虐待発見の機会にもなりえるので、検診における知識向上のために、学会、歯科医師会を通してセミナーを開催している。多数の歯にわかるう蝕の場合は、育児ネグレクトも疑われるため、医療、育児支援を行い、小児科等の医療機関や福祉、行政機関との連携をとって対応している。</p>
(一般社団)日本臨床心理士会	<p>会員を対象とした研修会を年に1回定期的実施している。</p>
全国乳児福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の虐待防止、権利擁護に関する資料の周知により、乳児院の職員や、乳児院を利用する家族等に向けた啓発に取り組んでいる。 ・先の目黒区での虐待死事案を受け、直近の全国研修会において虐待防止に向けたアピールの採択を検討中
全国児童養護施設協議会	<p>虐待を受けた子どもに関する児童養護施設における養育の質を向上するため、下記の取組みを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任施設長や中堅職員を対象とした研修会を開催し、「子どもの人権擁護」をテーマとした講義を行っている。 ・施設における人権擁護の組織的対応を図るため、「児童養護施設における人権擁護のためのチェックリスト(施設版、職員版)」に取組むよう呼びかけている。 <p>など</p>
(NPO)日本ラクテーション・コンサルタント協会	<p>母乳育児支援にかかわる専門家のための非営利団体。年3回の学習会を実施</p>